

飼育スタッフの
解説つき

くらげ風鈴図鑑

「クラゲワンダー」で展示するクラゲの中から20種をピックアップし、それぞれの特徴をとらえたクラゲの風鈴を制作。ガラス特有の揺らぎや透明感でクラゲならではのシルエットを表現している風鈴を通じて、多種多様なクラゲの魅力をお届け。飼育スタッフの解説とともに楽しみてください。

クラゲ風鈴
創作者

弥彦クラフト

TAKU GLASS

タクグラス



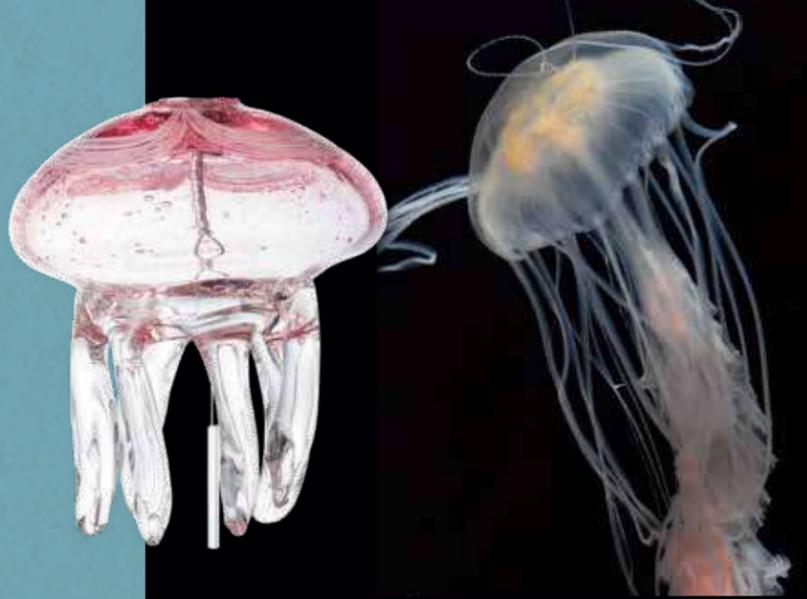
新潟県 一宮 弥彦神社の門前にある、ガラスの専門店。同じく弥彦にある工房で、一つひとつ手作りしている作品が並びます。手頃で日常使いしやすく、そしてかわいいものを目指して、心を込めて作っています。目で見て、手に取り、感じが合うものを見つけてもらうため、基本的には店頭販売のみ行っています。

1 | アカクラゲ



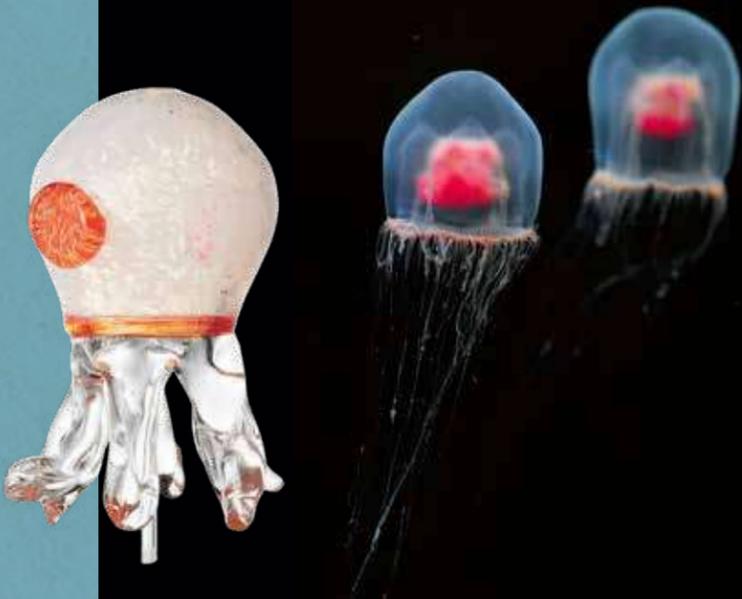
傘の赤いしま模様は、てっぺんから下にかけて色の濃さが微妙に違い、風鈴でもそれを表現しています。実はこのしま模様、「32本」と数が決まっていますが、さすがに風鈴では再現できませんでした。

2 | アマクサクラゲ



食いしん坊のアマクサクラゲ。傘のてっぺんにある模様の部分＝胃を、ダイナミックに再現しました。少し濁ったような桃色をしています。風鈴に空気の泡を入れることによって、その色合いを表現しました。

3 | イオリクラゲ



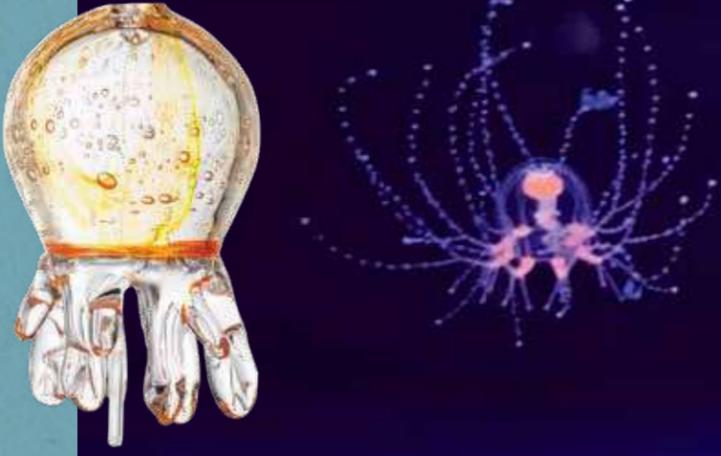
本来は傘の内側にある赤い生殖腺が風鈴では外側についていて、とても目立っています。ほかの風鈴に比べて少しまだらに色が入っていることで、イオリクラゲ独特の「透け感のある白色」を表現しています。

4 | インドネシアンシーネットル



透明感のない白色と、傘のふちのオレンジ色が美しく表現されています。ほかの風鈴に比べて傘に高さと厚みを出し、インドネシアンシーネットルが泳ぐ（拍動する）時の力強さを感じ取ることができます。

5 | エダアシクラゲ



エダアシクラゲの小さなからだから枝分かれしている触手の先端を、ガラスで繊細に表現しています。よく見ると、傘に薄いオレンジ色の筋が入っています。

6 | エボシクラゲ



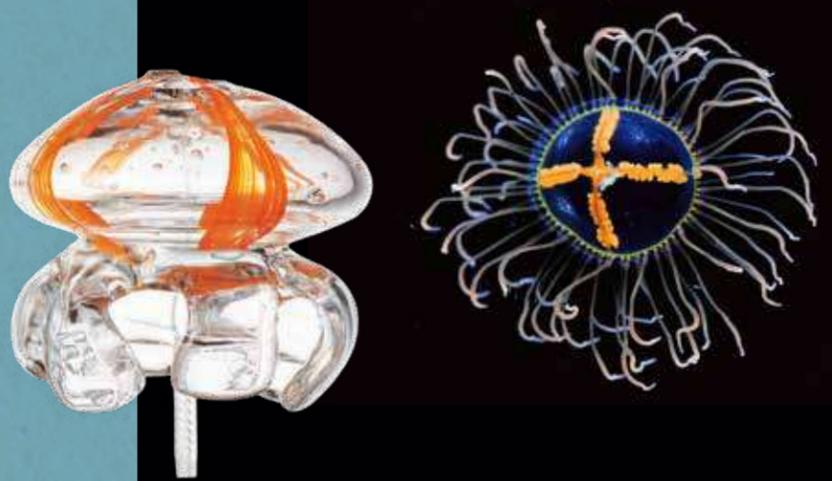
名前の由来である烏帽子（えぼし）のかたちがかわいらしいです。傘の内側にあるオレンジ色の生殖腺は、中にビーズを入れて再現。ほかの風鈴ではみられない、エボシクラゲならではの細工です。

7 | オワンクラゲ



オワンクラゲは、体内の蛍光タンパク質により発光するクラゲとして知られています。傘回りの緑色で、発光する様子を表現しました。よく見ると傘に入っている白い筋も、オワンクラゲの特徴を表しています。

8 | カギノテクラゲ



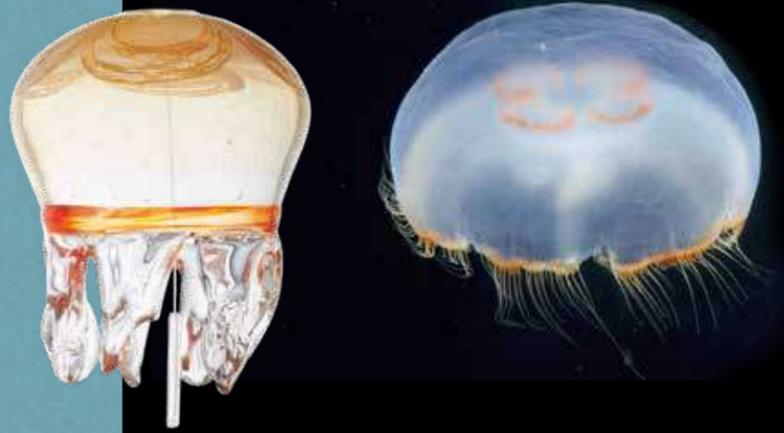
先端がカギ状に曲がった触手は、名前の通りカギノテクラゲならではの特徴です。濃いオレンジ色の十字模様（生殖腺）や、横から見た時に少し平たい傘のかたちも特徴です。

9 | カラージェリー フィッシュ



丸みと高さのある傘のかたちは、ぽこぽこと力強く泳ぐ(拍動する)カラージェリーフィッシュの特徴を再現。実物は触手まで青色ですが、風鈴では、触手部分に傘の青色が鏡のように映り、ガラスならではの美しさを感じ取ることができます。

10 | キタミズクラゲ



傘のふちにぐるっと入ったオレンジ色は、キタミズクラゲの特徴です。傘のてっぺんの四つ葉のクローバーのような模様は、胃の部分を再現しています。

11 | キャノンボール ジェリーフィッシュ



お花のように外側に開く足のような口腕(こうわん)の部分を、ガラスを外側にねじって表現しています。深みのある水色もキャノンボールジェリーフィッシュの特徴です。

12 | ギヤマンクラゲ



ギヤマンクラゲの細くて長い触手を、流れるように丁寧に再現。ほかの風鈴に比べて透明感も際立っています。ちなみに“ギヤマン”とは、オランダ語で「ダイヤモンド」という意味です。

13 | クリサオラ・ プロカミア



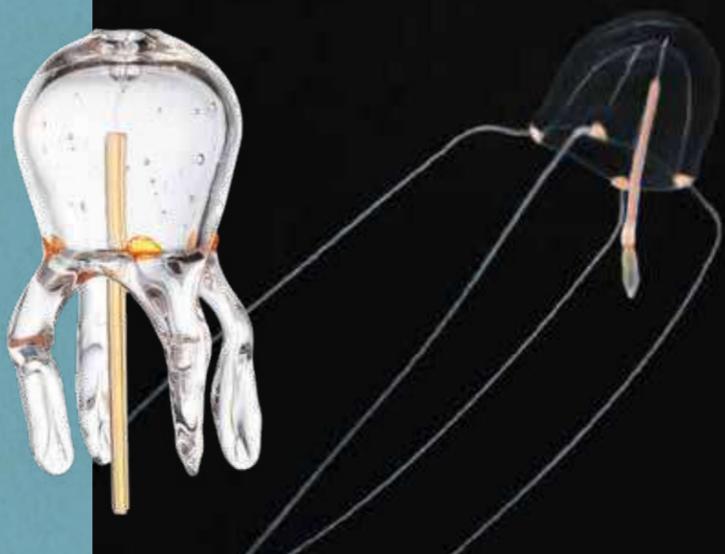
傘にしま模様が入っています。実物はほかのクラゲに比べて傘に厚みがあるのですが、風鈴では全体にふくらみを持たせることで、その厚みや奥ゆきのようなものを感じ取ることができます。

14 | サムクラゲ



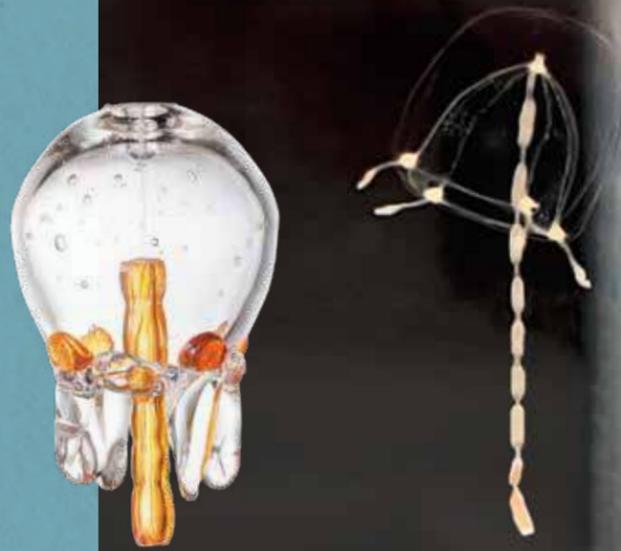
傘の真ん中の黄色や、てっぺんにかけてニュッと伸びるようなかたちはサムクラゲの特徴です。また、ふわりと伸びる足のような口腕（こうわん）は、ガラスを平たくすることで表現しています。

15 | サルシアクラゲ



傘の内側にある細長いオレンジ色の生殖腺が特徴のサルシアクラゲ。風鈴の音を奏でるガラスの棒で、この生殖腺を再現しています。また、小さなオレンジ色の眼点が傘のふちに4か所ついています。

16 | ジュズクラゲ



名前の通り、傘の内側に延びる数珠（ジュズ）状の生殖腺を、ガラスの棒にくびれをつけて表現しました。本当は9つに分かれています。丸みのある傘のかたちや短い触手もジュズクラゲの特徴です。

17 | シロクラゲ



小さいからだや細い触手といった、シロクラゲならではの繊細さを感じ取ることができます。傘の表面に4か所、模様が入っており、これは白い4本の生殖腺を表現しています。

18 | タコクラゲ



まだらな水玉模様と褐色に近いオレンジ色が特徴のタコクラゲ。先端にかけてボリュームのある足のような口腕（こうわん）は、ガラスを少しねじることで表現しています。実物は口腕がタコのように8本あります。

19 | パシフィックシー ネットル



赤い触手と白いリボン状の口腕（こうわん）を再現しています。赤い触手はまっすぐ伸びるように、白い口腕はくるりとスパイラルがかかったように、細かい部分まで表現しました。

20 | ミズクラゲ



ミズクラゲは「透明ではないけれど少し透けた白色」。ガラス細工によって、その絶妙な色合いを表現しました。傘のてっぺんの四つ葉のクローバーのような模様で、胃の部分を再現しています。